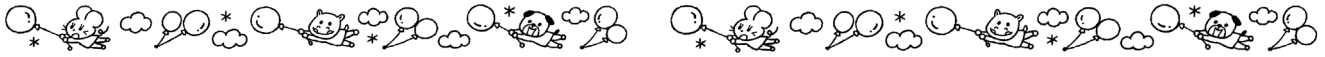


2020年3月号

社会福祉法人 尚徳福祉会
生麦保育園

さわやかな風が吹き始め、外であそびやすい季節がやってきました。保育園の玄関にはお雛様が飾られ、華やかな雰囲気です。

心も体も1年前に比べて大きく成長した子どもたち。きりんぐみでの残り1か月を大切に過ぎていきたいと思います。



～子安台公園に行ってきました～

最近、子安台公園に行くのが楽しみな子どもたち。“散歩に行きたい?”と聞くと『こやすだいこうえん!』と即答です。子安台公園は高台にあり景色が綺麗なところにあります。上から見て『なまむぎほいくえんは、どこかな?』『せんせい、いるかな』『あ、したにいるひとがいるよ』と手を振っている姿が見られました。公園での大人気スポットは“崖のぼり”です。最初は、そう組のお友だちが登っている姿を見ていましたが、『きりんぐみも、やりたい』と声が上がって挑戦してみました。初めは上手く登れずに、ズルズルと滑り落ちてしまうこともありましたが、下にいるお友だちが後ろから支えたり、手や足をどこに置いたらいいのかを体だけでなく頭で考えたりしていくうちに、登りきることができるようになってきました。頂上に着くと『やったー』『のぼれたー』と大喜び。でも、ズボンや洋服を見ると泥だらけ…頑張った証拠ですね!! 園に戻る道中に子どもたちからは『こんどいつくる?』『またきたいね』と次回を楽しみにしている様子がうかがえました。公園までは坂道のアップダウンはありますが、子どもたちの足で25分程なので、これからも安全に気を付け、ルールを守りながら子安台公園に行きたいと思います。

～なかよし会～

去年の秋ごろから、折り紙に興味を持ち、本を見ながら、保育士と一緒に食べ物を作って遊んでいました。その中の人気No.1だったポテトから、発展して生麦パーガー屋さんになり、お祭りごっことなりました。みんなで、ポテトの入れ物を折り、パーガーのチーズとトマトとレタスをハサミで切って作りました。自分たちで用意をしたので『あと、なんにち?』『まだ?』と、とても楽しみにしていました。

前日、お化け屋敷が出来る様子をドキドキワクワクしながら見ていました。当日は、自分で作った財布にペイを入れ、『これください』『いくらですか?』と会話をしながらお買い物ごっこを楽しんでいました。お化け屋敷は、薄暗い中、滑り台を通ると園長先生が井戸の中に隠れていました。子どもたちは驚いたようですが、声を聞いて『なんだ、えんちょうせんせいだったかあ』とホッと安心したようでした。出口の近くにスタンプ台があり、自分でスタンプを押したのですが、怖かったのと焦っていたので、逆さや何回も重ねて押されていました。お化け屋敷のお土産のせんべいを食べ、おめんをかぶり、ゲームコーナーで玉入れとワニワニパニックを楽しみ、ヨーヨー釣りもして、大満足な表情の子どもたちでした。

～子どもたちのささやき～

その1

午睡時に自分たちで布団を敷いて寝ます。ある日布団を敷いていると『ねえ、そこはだめだよ』『だって、まどのところだから』『じしんや、かじのときに、にげられなくなるよ』『がらすがわれたら、あぶないって、せんせいがいった』『あ～、そうだった!』と自分たちで考えて、身の回りのことを行っていました。

その2

『だれが、いすを3つかさねたの?』『え～、だれもいないの?』『きつと、せんせいだね!』『もう、だめだよ』『たおれたら、どうするのだろうね』と話をしているのが聞こえてきました。大正解、保育士がやりました。ごめんなさい。

その3

給食時に味噌汁の中にわかめを見つけ、数人の女の子がこんな会話をしていました。『わかめって、かみのけささになるんだよね』『はだも、つるつるになるんでしょ』『あ、せんせいもおんなのこだから、なるよ』と保育者の存在に気づいた時の一言でした。



4月のことがつい先日のように感じます。子どもたちの笑顔、泣き顔、怒り顔…いろいろな表情を見ることができ、毎日とても楽しい時間を過ごしました。さまざまな所で、子どもたちの成長を感じた時はとても嬉しく思いました。

至らないことも多くあったと思いますが、保護者のみなさまの温かいご理解とご協力のおかげで、とても楽しく過ごすことができました。子どもたちの成長を喜び、見守っていただけたこと、とても感謝しています。きりんぐみでの時間は私たちの宝物になりました。1年間ありがとうございました。